

福生市議会だより

FUSSA

No.183

発行 福生市議会
平成24年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成24年 第1回定例会

平成24年度一般会計予算及び 各特別会計予算を可決

平成24年4月から福生市暴力団排除条例を施行

主な内容

可決された案件	2面
議会日誌	2面
予算審査から	3面
一般質問	4~6面
委員会の審査	7面
議会の動き	8面
特別委員会活動	8面

本会議の経過

平成24年第1回定例会は、2月28日から3月27日まで会期29日間で開催され、17人の議員による一般質問が行われ、条例の一部改正など市長提出議案27件、委員会提出議案3件、議員提出議案1件、陳情3件などが審議されました。

▼1日目(28日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を29日間と決定しました。

▼2日目(29日)は、6人の議員が一般質問を行いました。

▼3日目(1日)は、5人の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(2日)は、1人の議員が一般質問を行いました。

▼5日目(27日)は、最終日で、委員会へ付託された議案25件を可決し、新たに提出された陳情書の3件については、委員会において結論が出され、委員長からの報告後、採決の結果、2件は採択、1件は不採択となりました。

また、陳情が採択されたことに伴う意見書2件を含む委員会提出議案3件及び議員提出議案1件を慎重審議の上、即決で可決となりました。



▲第29回ふっさ桜まつり(福生吹奏楽団の演奏)

なお、継続審査となっている陳情3件は、更にいくことを決定し、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第1号 「心の健康を守り推進する基本法(仮称)の法制化を求める意見書(要旨)」

今、国民の「こころの健康」は深刻な状況にある。平成10年から、毎年3万人以上の人々が自殺によって命をなくしている。精神科を受診する人は、平成17年には300万人以上、つまり40人に1人以上となっている。精神疾患の症状による社会生活の困難さは外からは見えにくく、本人の生きづらさが理解されにくいところである。

我が国では、平成18年4月に、地域社会で生活できるための仕組みを指した「障害者自立支援法」が施行された。しかし、法の施行直後から、新たに導入された応益負担制度を初め、さまざまな問題点が指摘された。その後、政府は平成22年1月に、障害者自立支援法違反訴訟の原告ら71人との間で、速やかに応益負担制度を廃止し、遅くとも平成25年8月までに、障害者自立支援法を廃止し新たな総合的な福祉法制を実施するとの基本合意を交わしている。そして、平成23年8月30日に総合福祉部会より「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」(以下「骨格提言」という。)が取りまとめられた。

このような状況を背景として、「こころの健康政策構想会議」が、平成22年5月末に厚生労働大臣へ「こころの健康政策構想会議提言書」を提出した。その中で、精神医療改革・精神保健改革・家族支援を軸として、国民すべてを対象とした、こころの健康についての総合的、長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求めている。

よって、福生市議会は、政府及び国会に対し、「心の健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求めるものである。

(提出先 内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長)

可決された案件 (要旨)

●全員賛成 ▼賛成多数

独自で規定する等の、地域の実情に応じた委嘱基準に改めるもの。

●福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例
図書館法の一部改正に伴い、協議会委員の人数などの任命の基準を改めるもの。

●福生市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例
組織改正に伴いスポーツ推進審議会を担当する課の名称を、「スポーツ振興課」から「スポーツ推進課」に改めるもの。

●福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
月額報酬の特別職が月の途中で就任した場合は報酬を日割計算に改め、新たに議会事務嘱託員の報酬を定め、再雇用職員に、都市建設事務嘱託員を加えようとするもの。

●福生市保育所条例の一部を改正する条例
児童福祉施設最低基準の一部改正に伴い引用基準名称を改めるもの。

●福生市非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
障害者自立支援法の一部改正に伴い生じた、引用条項のずれを整理するため改正するもの。

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
地方税法等の一部改正により、市たばこ税率の改定その他、必要な規定を整備しようとするもの。

●福生市公民館条例の一部を改正する条例
社会教育法の一部改正に伴い、公民館運営審議会委員の人数は市

部改正により、排水が制限されている物質の水質基準緩和に伴い改正するもの。

●福生市暴力団排除条例
暴力団に関し、排除活動の基本理念を定め、市及び市民等の責務を明らかにし、排除活動の推進措置等を定めるもの。

●福生市墓地等の経営の許可等に関する条例
墓地、埋葬等に関する法律の一部改正に伴い、墓地、火葬場等経営の許可等に関する事項を定めるもの。



▲暴力団排除条例施行PR用チラシ

●福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例
児童福祉法の一部改正による引用先の法の条ずれを整理するため、関係4条例を改正するもの。

●福生市介護保険条例の一部を改正する条例
平成24年度から26年度における第1号被保険者の所得段階別介護保険料率の額及びその特例を定め、現行保険基準額より増になる低所得者へは負担軽減に配慮し12段階設定とするもの。

●福生市下水道条例の一部を改正する条例
下水道法施行令の一部改正に伴い、下水道施設令の一部を改正するもの。

●福生市火葬費等の助成に関する条例を廃止する条例
瑞穂斎場での市民の火葬費は無料であること。また、国保等加入者への葬祭費等が給付されることから行財政改革の一環として廃止するもの。

●東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更について
後期高齢者医療の保険料軽減措置の実施に際し、関係区市町村の一般財源で負担することに伴う規約の一部変更をするもの。

●平成23年度福生市一般会計補正予算(第5号)
特定防衛施設周辺整備調整交付金の確定、第三市営住宅エレベーター設置に関する地方債補正など歳入歳出それぞれ5304万8千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ220億1087万7千円とするもの。

●平成23年度福生市一般会計補正予算(第6号)
牛浜駅自由通路整備事業に充当するため特定防衛施設周辺整備調整交付金1億3700万円を一旦基金に積み立て、また同額を繰り入れるため、歳入歳出予算総額をそれぞれ221億4787万7千円とするもの。

●平成23年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
高額医療費増に伴う共同事業交付金等の増額等で、歳入歳出それぞれ4041万7千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ69億

4363万4千円とするもの。

●平成23年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入は前年度決算の確定に伴う繰越金の増等、歳出は前年度決算の確定に伴う精算額を一般会計へ繰り戻すなど、歳入歳出それぞれ2382万7千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ8億8153万9千円とするもの。

●平成23年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)
歳入歳出事業の精算と、事業確定による減額補正、また地方債の変更で、歳入歳出それぞれ3889万円減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ14億1335万円とするもの。

●市道路線の認定について
拡幅整備のため用地買収が進められている都市計画道路の代替地を確保するために、整備した私道で、市に寄附されることから市道として管理する必要が生じたため、認定するもの。

●市道路線の廃止について
将来的に都市計画道路が一部かかる市道1030号線の隣接土地所有者から、買収される部分と交替の払い下げ申し出があり、また、現在は管理する必要がないことから、全部廃止するもの。

決議

議員提出議案第1号 第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会東京招致に関する決議 (要旨)
オリンピック及びパラリンピック競技大会は、大きな感動を与え、日本人選手の活躍は、世界に存在感を示し、国民に大いなる希望を与えてきた。
東日本を襲った大震災は、我が国に甚大な被害をもたらしたが、現在、復興と収束に向けて大きく歩み出している。
2020年に東京で開催することは、我が国が再び力強く復興した姿と安全を世界に示すことができ、象徴的な目標となる。
よって、福生市議会は、第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致をここに強く求めるものである。

討論

●平成24年度福生市一般会計予算
歳入では臨時財政対策債などの活用、歳出では災害対策の取り組みの強化などに効率的に配分し、市民の生活を守る予算として今後の市税の収納率向上の取り組みや、定住化対策など新しい元気施策の推進を期待し、賛成する。
●賛成
予算の可否は防災減災、安全安心、効果的配分、後年度負担、市民満足度の視点から判断され、限られた財源の効果的運用と今後の環境の変化には柔軟に対応し、今以上に市民サービスの向上に努められることを期待し、賛成する。
●賛成
災害対策元年としての市民へのアピールが重要で、行政と市民が一体となり、さまざまな場面で判断や決断を求められるが、六万市民の安全安心のため強いリーダーシップをもって市政運営を進めたいと強く期待し、賛成する。
●賛成
人口流出対策、国の悪政から市民や事業主を守る対策や積極的な予算活用策

「議会日誌」

27日	第3次議会改革検討協議会 例月出納検査	29日	議会運営委員会 例月出納検査
26日	第3次議会改革検討協議会 例月出納検査	28日	議会運営委員会 例月出納検査
25日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	27日	議会運営委員会 例月出納検査
24日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	26日	議会運営委員会 例月出納検査
23日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	25日	議会運営委員会 例月出納検査
22日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会	24日	議会運営委員会 例月出納検査
21日	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会	23日	議会運営委員会 例月出納検査
20日	災害に強いまちづくり特別委員会	22日	議会運営委員会 例月出納検査
19日	正副会長・監事・相談役会議	21日	議会運営委員会 例月出納検査
18日	定期監査	20日	議会運営委員会 例月出納検査
17日	三多摩地区消防運営協議会役員会	19日	議会運営委員会 例月出納検査
16日	三多摩地区消防運営協議会役員会	18日	議会運営委員会 例月出納検査
15日	三多摩地区消防運営協議会役員会	17日	議会運営委員会 例月出納検査
14日	三多摩地区消防運営協議会役員会	16日	議会運営委員会 例月出納検査
13日	三多摩地区消防運営協議会役員会	15日	議会運営委員会 例月出納検査
12日	三多摩地区消防運営協議会役員会	14日	議会運営委員会 例月出納検査
11日	三多摩地区消防運営協議会役員会	13日	議会運営委員会 例月出納検査
10日	三多摩地区消防運営協議会役員会	12日	議会運営委員会 例月出納検査
9日	三多摩地区消防運営協議会役員会	11日	議会運営委員会 例月出納検査
8日	三多摩地区消防運営協議会役員会	10日	議会運営委員会 例月出納検査
7日	三多摩地区消防運営協議会役員会	9日	議会運営委員会 例月出納検査
6日	三多摩地区消防運営協議会役員会	8日	議会運営委員会 例月出納検査
5日	三多摩地区消防運営協議会役員会	7日	議会運営委員会 例月出納検査
4日	三多摩地区消防運営協議会役員会	6日	議会運営委員会 例月出納検査
3日	三多摩地区消防運営協議会役員会	5日	議会運営委員会 例月出納検査
2日	三多摩地区消防運営協議会役員会	4日	議会運営委員会 例月出納検査
1日	三多摩地区消防運営協議会役員会	3日	議会運営委員会 例月出納検査
30日	三多摩地区消防運営協議会役員会	2日	議会運営委員会 例月出納検査
29日	三多摩地区消防運営協議会役員会	1日	議会運営委員会 例月出納検査
28日	三多摩地区消防運営協議会役員会	31日	議会運営委員会 例月出納検査
27日	三多摩地区消防運営協議会役員会	29日	議会運営委員会 例月出納検査
26日	三多摩地区消防運営協議会役員会	28日	議会運営委員会 例月出納検査
25日	三多摩地区消防運営協議会役員会	27日	議会運営委員会 例月出納検査
24日	三多摩地区消防運営協議会役員会	26日	議会運営委員会 例月出納検査
23日	三多摩地区消防運営協議会役員会	25日	議会運営委員会 例月出納検査
22日	三多摩地区消防運営協議会役員会	24日	議会運営委員会 例月出納検査
21日	三多摩地区消防運営協議会役員会	23日	議会運営委員会 例月出納検査
20日	三多摩地区消防運営協議会役員会	22日	議会運営委員会 例月出納検査
19日	三多摩地区消防運営協議会役員会	21日	議会運営委員会 例月出納検査
18日	三多摩地区消防運営協議会役員会	20日	議会運営委員会 例月出納検査
17日	三多摩地区消防運営協議会役員会	19日	議会運営委員会 例月出納検査
16日	三多摩地区消防運営協議会役員会	18日	議会運営委員会 例月出納検査
15日	三多摩地区消防運営協議会役員会	17日	議会運営委員会 例月出納検査
14日	三多摩地区消防運営協議会役員会	16日	議会運営委員会 例月出納検査
13日	三多摩地区消防運営協議会役員会	15日	議会運営委員会 例月出納検査
12日	三多摩地区消防運営協議会役員会	14日	議会運営委員会 例月出納検査
11日	三多摩地区消防運営協議会役員会	13日	議会運営委員会 例月出納検査
10日	三多摩地区消防運営協議会役員会	12日	議会運営委員会 例月出納検査
9日	三多摩地区消防運営協議会役員会	11日	議会運営委員会 例月出納検査
8日	三多摩地区消防運営協議会役員会	10日	議会運営委員会 例月出納検査
7日	三多摩地区消防運営協議会役員会	9日	議会運営委員会 例月出納検査
6日	三多摩地区消防運営協議会役員会	8日	議会運営委員会 例月出納検査
5日	三多摩地区消防運営協議会役員会	7日	議会運営委員会 例月出納検査
4日	三多摩地区消防運営協議会役員会	6日	議会運営委員会 例月出納検査
3日	三多摩地区消防運営協議会役員会	5日	議会運営委員会 例月出納検査
2日	三多摩地区消防運営協議会役員会	4日	議会運営委員会 例月出納検査
1日	三多摩地区消防運営協議会役員会	3日	議会運営委員会 例月出納検査

平成24年度 予算の概要

一般会計予算を
4日間集中審査！

今定例会に、平成24年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて348億1143万7千円が提出され、一般会計予算審査は予算審査特別委員会、特別会計予算審査は建設環境委員会及び市民厚生委員会、各1日間行われ、通算6日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

平成24年度の一般会計予算は220億7700万円で、前年度に比べて2.0%の増加となりました。大規模事業（牛浜駅自由通路整備事業・福生病院組合建設費負担金）を除いた比較では、1.4%の増額となっています。特別会計予算は127億3443万7千円で、前年度に比べて7.5%の増加となり、一般会計と特別会計を合計した当初予算額は348億1143万7千円で、前年度に比べて4.0%の増加となりました。

一般会計予算の審査から

24年度予算の特徴は

問 平成24年度予算の特徴的な点、例年と異なる点をお聞きしたい。

答 予算規模は23年度比で4億3千万円、2.0%の増で、すみれ保育園建設、牛浜駅自由通路整備等、大規模事業で16億円以上となる。収支については市税減少が一番大きく影響しているが、

問 臨時財政対策債は発

臨時財政対策債について

市民サービスを低下させずに教育、福祉のレベルアップ、災害対策では要援護者システム導入、消防団の施設整備充実など市民の安全安心、福祉向上を進めていくが、財源不足となるため臨時財政対策債の借入れ6億円を計上したところである。

問 児童館の指定管理委

児童館等施設 指定管理委託料について

答 例年2月、3月の利用状況を見て対応しているため、24年度も前年の利用実績から50万円ほど増額したものである。またこの制度は民間の宿泊施設の中から利用者が選んだところに3千円を助成するもので、市内の旅行業者の育成、活性化の観点からも制度を変えていく考えは今のところない。

市民契約保養施設 利用助成について

問 宿泊助成費を増額することのことが、利用状況は。また最近民間施設でも低価格で利用できる場所もあるため、今後の考え方を伺いたい。

次世代モビリティ活用 モデル事業について

問 次世代モビリティ活用モデル事業でサイクルシェアリング、カーシェアリングが開始されているが、自転車のパンクや車の故障などの不測の事態への対応は。また、これは実証実験であり、他市へのPRの考えは。さらにカーシェアリングをインターネットで申込みの手続きは。

福東緑地整備について

問 福東緑地整備事業は、今まで説明を受けていないが、どんな整備を計画しているのか。

答 現在利活用されてない緑地を有効活用するため、北関東防衛局や財務省に緑地部分の無償での借用と民生安定施設の助成事業（8条）での調整を進めてきたが、土地の無償借用と8条での補助率3分の2をいただけたこととなり、事業化のめどが立ったことから今年

公民館の貸し出しについて

問 団塊世代が退職し、公民館活動参加者が増えている。一層充実させていく必要があると思うが、会館を増やすとか、部屋

武道用具 借上料について

問 武道用具は各中学校で、秋から冬にかけて年間で10時間程度の授業をする間に42セットを借りておく。消毒済みのものをその期間だけ借りて返すが、その間は各学校で衛生管理等はする。また、直接肌につける防具衛生セットは個人購入の予定。

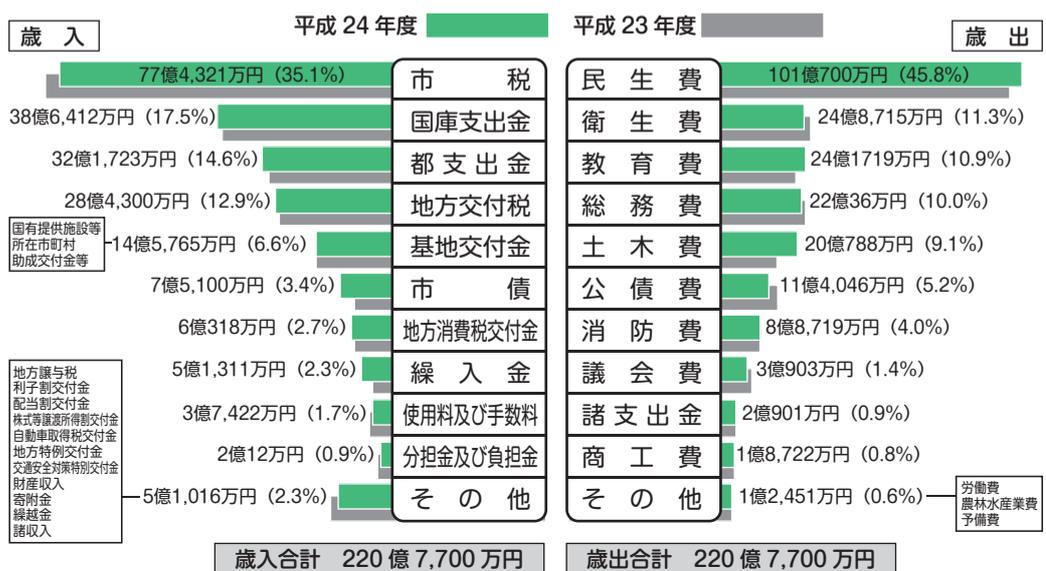


▲平成24年度一般会計予算を起立多数で可決

平成24年度 各会計別予算規模 (人口24.1.1現在 59,452人)

会計区分	24年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	220億7,700万円	2.0	37万1,342円
特別会計			
国民健康保険特別会計	66億8,838万7千円	4.5	11万2,501円
介護保険特別会計	32億5,041万6千円	3.5	5万4,673円
後期高齢者医療特別会計	9億4,507万9千円	10.2	1万5,896円
下水道事業会計	18億5,055万5千円	28.2	3万1,127円
総合計	348億1,143万7千円	4.0	58万5,539円

平成24年度 一般会計予算の款別内訳 ()内の数字は合計に占める割合



熊川救急隊が配備されたが、熊川地区における救急車運行の問題点は

乙津 豊彦 議員

質問 熊川地区には狭あい道路や鉄道ガード、橋の下のトンネルなどが残っているが、救急車運行におけるバリアとなる箇所はあるか。救急車の長さ、高さ、幅を伺いたい。

cm、車幅189cmである。



▲福生消防署熊川出張所に配備された救急車

市長 熊川五丁橋前交差点西側の八高線高架下が高さ制限により通行できないので、わらつけ街道か武蔵野橋南交差点を経由するとのことである。救急車は全長569cm、高さ284

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式(一括と一問一答の併用)のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし4ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、5月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

なお、この一般質問の掲載内容は、質問議員に確認してあります。

自衛隊移駐に伴い物品調達等市内業者参入の状況はどうか

大野 聡 議員

質問 12月定例会以降の横田基地への航空総隊司令部移駐の状況はどうか。また、それに伴う物品調達等への市内業者の参入状況を伺いたい。

地のホームページに掲載されている。



▲航空総隊司令部庁舎

市長 司令部庁舎へ備品等が搬入されており、最終的な移駐人数は約760名の予定。自衛隊の委託する売店は、クリーニング店が当市業者に決定したようだが、物品等の調達に関しては、入札参加申請案内が府中基

4年間の市政運営について5つの元気事業の評価と今後の予定は

申田 金八 議員

質問 5つの元気事業の評価は。また、今後の事業推進に向けて5月の市長選挙へ再度出馬する意思はあるのか。

補の報告をさせていただきたい。

市長 5つの元気事業については、市民に約束したすべての事項に着手し、事業化できたことでまちづくりに貢献できたと思っているが、やるべきことはまだまだあるとの思いから、再出馬の決心をし、ここに立候



▲まちなかおもてなしシテーション「くるみるふっさ」

健康維持、増進施策はどのような移り変わりできたか

武藤 政義 議員

質問 高齢化、生活習慣病の増加を受け、さまざまな健康維持、増進施策がなされてきたが、その移り変わりについて伺いたい。

を開始してきている。



▲健康ふっさ21

市長 平成18年に「健康ふっさ21」を策定し、健康づくり推進員による活躍が広がり、20年度から特定保健指導が始まり、保健事業として胃がん等無料検診項目も増加、21年度には他市にはないヘルスチェック事業

入札制度における市内業者の登録状況と契約手続き、落札割合は

町田 成司 議員

質問 入札等での物品購入の契約における市内業者の登録数や契約行為の内容、落札割合を伺いたい。

業者の落札割合は40.3%である。

市長 公正、透明性を確保し、市内業者を優先的に選定している。電子調達登録は67社、小規模契約事業者は34社で、60万円以上は契約管財課が入札等を行い、10万円未満は各担当課が事務を行っている。



▲東京電子自治体共同運営電子調達サービスホームページ

総務部長 物品購入における市内

市内小・中学校を英語教育特区に

末次 和夫 議員

質問 「基地のまち」の負のイメージを逆手に、英語教育が充実したまちとして、英語教育特区を導入してはどうか。子育て世代の定住化にもいい影響を与えるのではないか。

のために指導法の研究を進めていく。



▲使用している英語教科書

教育長 研究課題の一つとしており、当面は小学校の外国語教育が楽しく、異文化等への関心が高まるよう指導内容や教材等の工夫を進めるとともに、小・中学校の円滑な接続

大規模災害への備えとして自主防災組織の位置づけと帰宅困難者対策は

柳川 英司 議員

質問 自主防災組織の行政における位置づけは。また帰宅困難時の市内業者、事業者との連携について、東日本大震災の教訓を生かした対策としてどのように考えているか。

どを備蓄している。

市長 大地震時は行政による公助は対応が遅れると言われており、共助である自主防災組織こそが大きな力となると考えている。また帰宅困難者対策として市では食糧、毛布な



▲自主防災リーダー講習会

「横田基地の歴史」をもっと社会科副読本で教えては

岩崎 百合子 議員

質問 私もそうであったが、滑走路は横田基地のためにつくられたと思っている子どもは少ない。社会科副読本では、それが当たり前でないことを子どもに知らせる必要があると思うが、編集方針を伺いたい。

でも基地の歴史を扱うことはない。



▲福生市と横田基地

教育長 子どもたちが市への理解を深め、郷土愛を育むことができるようにすることを目指して編集しているが、横田基地周辺のことは調べ

定住化につながる施策として学校給食無料化実施の考えは

池田 公三 議員

質問 福生市の子ども世代と子育て世代で人口流出が続いている。思い切った対策をとらなければならない。学校給食費の無料化は、少子化・人口流出対策として、全国的にいくつかの自治体ですでに実施されている。子育て世代を力強く励ます学校給食費の無料化についての考えを伺う。

であり、無料化は考えていない。

教育長 基本として、食材費は保護者負担、その他は公費ということ



▲第2給食センター

社協の情報提供により傾聴ボランティアが訪問できるシステムづくりを

原田 剛 議員

質問 在宅の高齢者の傾聴の要望を在宅介護支援センターがまとめ、社協が情報提供してボランティアが訪問するという形の傾聴ボランティアシステムづくりはできないか。

福祉保健部長 今年度、社会福祉協議会では傾聴ボランティアサークルがつくられ、ホームページでの紹介や冊子を作成する予定とのことで、まずは高齢者に知っていただくため



▲福祉センター

ごみの不法投棄対策はどのように

杉山 行男 議員

質問 有料ごみ袋を購入せずにごみを捨てている市民がおり、熊川駅前でも片づけては捨てられが5年続いている。熊川駅も含め市はどう把握し、その状況はどうかを伺いたい。

市長 平成22年度、公共用地への不法投棄は市職員が60件、委託業者は35件回収し、看板設置等の対策をして件数は横ばい傾向である。熊川駅前の投棄者を突き止めようとして



▲不法投棄禁止の看板

やなぎ通り(西友前)ガードレール標識を視覚に訴える看板に

奥富 喜一 議員

質問 歩道側の走行用は「自転車の歩道走行は車道側をゆっくりと」車道側走行用は「自転車の車道走行は左端を気をつけて」と利用時に視覚に訴える表示にして、自転車利用者への交通安全の啓発を図ってはどうか。

市長 注意看板等の設置については市内全域にかかわる問題であり、交通安全対策を考える中で福生警察



▲やなぎ通り

公共施設にエレベーターの導入を

田村 正秋 議員

質問 高齢化社会到来の中、交通弱者と言われる方々が公的機関を利用する際、エレベーターが必要と思う。商工会館、もくせい会館についても市民から設置の要望が多いが、考え方を伺いたい。

市長 多くの公共施設は建築後30年以上経過し、更新時期を迎えているので、構造上難しい所もあるが、大規模改修の際にはエレベーターを



▲市役所のエレベーター

個人が常備して日々安全確認をするために防災ハンドブックの作成を

五十嵐 みさ 議員

質問 財布に入るサイズで、いざという時の避難場所や家族との連絡方法などを確認するのに役立つ、常備できる簡易な防災ハンドブックの作成についての考えは。

市長 地域防災計画の見直しに伴い平成18年度作成の防災マップ・洪水ハザードマップの改定を予定しているため、防災ハンドブックのサイズや中身、必要性について今後検討



▲洪水ハザードマップ

携帯電話に災害情報を一斉配信する「緊急速報メール」導入について

堀 雄一朗 議員

質問 通常の電子メールと異なり、事前登録の必要がなく、エリア内の携帯電話に一斉にメールを届けられる「緊急速報メール」を当市も導入すべきと考える。市はどう取り組むのか。

市長 緊急速報メールの受信機能を持つ携帯電話を持っていれば、市内来訪者や通過中の人にも災害情報を伝達できる。配信契約を結び、避



▲緊急速報メール

小学校の移動教室 日光はどのようにして決めたのか

阿南 育子 議員

質問 昨年、福島第一原発の甚大な被害後の6月に、福島に近づく方向の日光で移動教室が行われた。ことは見直しされるのかと思っていたが、既に日光に決まっていると聞かされた。決定の流れについて伺いたい。

教育長 ホットスポットが相次いで発見されたのを受け、日光市に直接出向き話を伺い、測定機で活動予定場所を測定するなど情報収集し、



プラムボックスウイルスの除染区域が指定されたが、具体的な内容は

大野 悦子 議員

質問 市内でも感染が確認され、いよいよ広がってきたかと感じているが、市内の状況と除染区域の指定についての具体的な内容を伺いたい。

市長 農林水産省の調査の結果、市内から、8本の感染樹が確認された。同省では植物防疫法に基づき、牛浜、福生、加美平、北田園、志茂、東町、本町、武蔵野台を防除区域に指定し、防除区域外への持出禁止と感染



▲市内の梅の木

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジター方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

○デジター(DAISY)とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像
※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ
(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

次回定例会のお知らせ

★傍聴にお出掛けください。★

平成24年第2回定例会は、6月5日(火)から6月22日(金)までを予定しています。

◆本会議 (予定)

午前10時開会

6月5日(火)～6月8日(金)及び6月22日(金)

◆常任委員会 (予定)

午前10時開会

6月12日(火)～14日(木)

平成24年 第1回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 串田 金八 (一括)	1 施政方針について (1)4年間の市政運営について	⑩ 杉山 行男 (併用)	1 清掃事業について (1)ごみの不法投棄対策について (2)ごみ・資源の回収について 2 動物のふんの処理について (1)犬・猫のふんの被害対策について 3 図書館行政について (1)図書館の将来について (2)朗読ボランティアについて
② 町田 成司 (一問一答)	1 人口減少について (1)市長、副市長、教育長等で構成されている「まちづくり戦略会議」について (2)福生市における世帯構成の分布について 2 入札制度について (1)福生市内業者との契約について 3 都市計画マスタープランについて (1)都市計画マスタープランの基本理念及びマスタープランの現計画と改定計画について	⑪ 田村 正秋 (一括)	1 土木行政について (1)一小通りの整備事業について (2)宿橋通りの整備事業について 2 インフルエンザについて (1)市内小・中学校の状況について 3 バリアフリー対策について (1)公的機関のエレベーターの導入について 4 教育行政について (1)新年度の児童・生徒の状況について (2)神明通りのスクールゾーンの指定について
③ 柳川 英司 (併用)	1 大規模災害について (1)地域防災計画の見直しについて (2)大規模災害の備えについて 2 市内駅周辺自転車等駐車場について (1)自転車等駐車場の利用状況について (2)東福生駅前の自転車等の駐車対策について 3 自由広場について (1)経緯と現状について (2)立地環境と環境整備について (3)有効利用について	⑫ 堀 雄一朗 (併用)	1 市内案内表示計画(サイン計画)について 2 清潔で美しいまちづくりについて (1)公園・道路の清掃活動について (2)清潔で美しいまちづくり条例での取り組みについて 3 住民基本台帳カードについて 4 緊急速報メールについて 5 図書館の利用と読書推進について
④ 池田 公三 (一問一答)	1 自然エネルギーの推進について (1)市民・商店・業者・行政の協働推進事業としての太陽光発電システムについて 2 学校給食等の放射能測定について (1)小学校給食と中学校ランチの一食分丸ごと放射能測定について 3 定住化につながる学校給食問題について (1)中学校給食について (2)中学校就学援助家庭への昼食費補助について (3)学校給食の無料化について	⑬ 大野 悦子 (一括)	1 次世代モビリティ活用モデル事業について (1)電気自動車カーシェアリング事業について 2 福生商品券協同組合について (1)現状の運営状況について 3 プラムボックスウイルスの福生市内の状況について (1)防除区域の指定について
⑤ 乙津 豊彦 (併用)	1 救急行政について (1)熊川救急隊配備について (2)救急車の運行について 2 学校教育について (1)新学習指導要領について (2)市長が目指す「住みたくある夢のある街福生」から見た学校教育について	⑭ 原田 剛 (併用)	1 災害時の事業継続計画(BCP)について (1)今後の計画について (2)庁舎の電源確保について 2 自転車の安全走行について 3 傾聴ボランティアについて 4 教育行政について (1)中学校の武道について (2)家庭と子どもの支援員について (3)家庭での学習支援について
⑥ 大野 聡 (一括)	1 横田基地について (1)航空総隊司令部等の移駐状況について (2)自衛隊航空機の横田基地への飛来状況について (3)加藤市長就任以来の横田基地に係る取組状況について 2 基礎自治体への事務移譲について (1)事務移譲の目的と移譲される事務について (2)当市の対応と今後の予定等について 3 地域会館の改修計画について (1)地域会館の施設の老朽状況と改修整備方針の内容について (2)わかぎり会館の改修計画について	⑮ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)航空総隊司令部移駐関連工事等の進捗状況について (2)「ヤマサクラ61」演習について (3)ゴルフボール状アンテナについて他 2 にぎわいと活気を生み出す総合交通体系について (1)都市計画マスタープランに寄せられた意見に学んで (2)地域公共交通会議を早急に開催することについて (3)福祉バス増便で30分以内循環にすることについて (4)「やなぎ通り(西友前)ガードレール標識看板を」について (5)駅前駐輪場の無料化に踏み切るべきではないか
⑦ 武藤 政義 (一括)	1 健康行政について (1)健康維持、増進施策の移り変わりについて 2 公園行政について (1)主な管理業務について (2)今後目指していく公園のあり方について 3 公民館集会所等について (1)集会所等の意義、目的について (2)申し込みの方法について (3)主な利用団体について	⑯ 五十嵐 みさ (一括)	1 防災について (1)福生市における災害時の給水体制について (2)防災ハンドブックの作成について (3)横田基地との災害協定について 2 福生市のごみ・リサイクルについて (1)容器包装プラスチックの回収について (2)分別収集における事故状況と課題について (3)ペットボトルとプラスチックボトルの回収について 3 学校の連絡体制について (1)学校の連絡体制の現状及び、学校メールの運用と管理について
⑧ 末次 和夫 (併用)	1 住居表示の整備について (1)住居表示(福生・熊川等)整備の必要性について (2)整備できない理由について (3)今後の取り組みの見通しについて 2 英語教育特区について (1)福生市の英語教育の現状について (2)英語教育特区のメリット、デメリットについて (3)福生市の英語教育特区について	⑰ 阿南 育子 (一問一答)	1 小学校移動教室について (1)場所や内容の決定方法について (2)放射性物質の影響について 2 子どもたちの食環境(放射能)の安全について (1)小学校給食・中学校ランチルームの食材への放射能測定について (2)保育園・幼稚園の給食等について
⑨ 岩崎 百合子 (一括)	1 市内の雨水幹線整備について (1)市内での雨水幹線の整備状況について 2 福生市スポーツ推進計画と福東グラウンドの施設の充実について 3 社会科副読本について (1)社会科副読本の編集方針について		

委員会の審査から

建設環境委員会

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情等の審査が3月13日、14日、15日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、災害に強いまちづくり特別委員会が3月19日及び3月21日に行われ、横田基地対策特別委員会が3月19日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第5号)

設置場所と都条例10条との違いについて

答 都条例では河川等から概ね20m以上、住宅等から概ね100m以上の規定になっているが、福生市の墓地のほとんどが現行の都条例施行以前から存在する。また、福生市においては、条例適用除外の、焼骨を埋葬する既存墓地の拡張が対象になることから、都条例の適用を行わなかった。

◎平成23年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)

問 歳入の下水道国庫補助金と都の下水道費補助金は同一事業か。

答 国50%と都2・5%の補助金は、立川第2排水区と福東地区幹線の設計委託と同じ下水道管渠埋設事業の補助金である。

◎平成24年度福生市下水道事業会計予算

問 下水道使用料12億8千万円の約68%が横田基地の使用料と雨水との使用料か、又、基地周辺市町にも基地の汚水や雨水が流れているのか。

答 使用料については汚水のみであり、一部武蔵村山市に流れているが、雨水は福生のみで、多摩川に直接放流している。

◎市道路線の認定について

問 市道認定されることによる土地の評価額は、5mの新しい道路ができるので、土地の評価は変わってくる。

答 市道認定されることによる土地の評価額は、5mの新しい道路ができるので、土地の評価は変わってくる。

◎市道路線の廃止について

問 値上げしないで済む市は、年齢層が若いからなのか。

答 他市と比較して、当市は後期高齢者の割合が高く、要介護度、施設サービス利用度も高い。

市民厚生委員会

◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例

問 月920円も保険料を上げなければならぬ理由は何か。

答 介護給付費が平成21年度から毎年4%程伸びており、給付費の4%増を見込んだ結果の改定になる。

◎福生市保育所条例の一部を改正する条例

問 面積基準が平成27年3月まで緩和されるといふ指定区域は26市ではどこか。

答 立川市、三鷹市、府中市、調布市、小平市、東村山市、東久留米市、多摩市、西東京市の9市である。

◎福生市火葬費等の助成に関する条例を廃止する条例

問 廃止で見込まれる予算削減額はどの位か。

答 200万円から300万円となる。

◎平成24年度福生市国民健康保険特別会計予算

問 後期高齢者支援金の予算増額の理由は何か。

答 加入者1人当たり23年度より単価が2609円5・3%上昇したため増加した。

◎福生市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 日割り計算に該当する委員は、具体的にどのようなことになるのか。

答 委員の任期が月末でない委員は該当となる。月額支給となっている委員は該当しないが、途中退職した場合は該当する。

◎福生市公民館条例の一部を改正する条例

問 今回の社会教育法の具体的な変更点は。

答 今回の社会教育法は、公民館運営審議会の委員に関する規定がなく、市町村独自で定められるようになった。

◎福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例

問 公民館と図書館で委員の数は異なるのか。

答 個人利用が多いことから、学校、社会教育関係者を少なくし、家庭教育学識経験者に割り当てた。

◎福生市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例

問 福生市暴力団排除条例の実態は。

答 市内には事務所が1か所、管内で暴力団員約70名、周辺者が約95名。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 たばこ税の市町村割合が多くなった影響は。

答 平成25年で試算すると約3300万円増と見込んでいる。

◎福生市公民館条例の一部を改正する条例

問 今回の社会教育法の具体的な変更点は。

答 今回の社会教育法は、公民館運営審議会の委員に関する規定がなく、市町村独自で定められるようになった。

◎福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例

問 公民館と図書館で委員の数は異なるのか。

答 個人利用が多いことから、学校、社会教育関係者を少なくし、家庭教育学識経験者に割り当てた。

◎福生市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例

問 福生市暴力団排除条例の実態は。

答 市内には事務所が1か所、管内で暴力団員約70名、周辺者が約95名。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第5号)

問 たばこ税の市町村割合が多くなった影響は。

答 平成25年で試算すると約3300万円増と見込んでいる。

◎福生市公民館条例の一部を改正する条例

問 今回の社会教育法の具体的な変更点は。

答 今回の社会教育法は、公民館運営審議会の委員に関する規定がなく、市町村独自で定められるようになった。

◎福生市図書館協議会条例の一部を改正する条例

問 公民館と図書館で委員の数は異なるのか。

答 個人利用が多いことから、学校、社会教育関係者を少なくし、家庭教育学識経験者に割り当てた。

◎福生市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例

問 福生市暴力団排除条例の実態は。

答 市内には事務所が1か所、管内で暴力団員約70名、周辺者が約95名。

◎平成23年度福生市一般会計補正予算(第6号)

問 第三市営住宅エレベーター設置事業は低入札と思われるが対応は。

答 建築工事については、低入札調査価格となり業者とヒアリングを行い、また内部で低入札調査価格委員会を開き、適正な工事ができるといふ意思決定をした。

3月13日に委員会が開催され、議案7件の審査を行い、すべて原案のとおり可決・認定しました。



▲工事中の牛浜駅

3月14日に委員会が開催され、議案10件と陳情5件を審査しました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市保育所条例の一部を改正する条例

◎福生市火葬費等の助成に関する条例を廃止する条例

◎福生市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例



▲中央図書館

◎福生市公民館条例の一部を改正する条例

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

平成25年 国民体育大会を開催します!

平成25年、東京都で「スポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会)」が開催されます。

東京都で国民体育大会(国体)が開催されるのは、54年ぶりで、福生市では、ソフトボール競技(成年女子)を開催します。

第68回国民体育大会

【競技会期】平成25年9月29日(日)～10月1日(火)
【競技会場】福生野球場・市営競技場

この大会を成功させるため、福生市では、関係する機関・団体の代表者からなる「スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会」を設立し、その準備を進めています。

国体開催気運を高め、国体に関心を持ってもらうため、各種イベント等において、来場者等への「国体PR活動」を行っています。スポーツ祭東京2013マスコットキャラクター「ゆりーと」も登場し、ダンスを踊ったり、来場者と写真を撮ったりと活躍しています。



マスコットキャラクター「ゆりーと」

今年もリハーサル大会を開催します!

今年、国体における競技会運営能力の向上を図るとともに、国体に対する市民の関心の高め、理解を深めるために、リハーサル大会として「第64回全日本総合女子ソフトボール選手権大会」を三鷹市、あきる野市、瑞穂町と分担して開催します。

第64回全日本総合女子ソフトボール選手権大会(リハーサル大会)

【競技会期】平成24年9月21日(金)～9月23日(日)※予備日24日(月)
【競技会場】福生野球場

大会を成功させるには、市民の皆さまの御協力が不可欠です。そこで、実行委員会では「福生市国体ボランティア」の募集を行っています。皆さまの御理解と御協力をお願いします。

問合せ 国体推進室 ☎042-551-1750

議会の動き

【第3次議会改革検討協議会の活動報告】

本年に入り、第3次議会改革検討協議会については、計3回開催され、12項目の課題を順次検討してまいりました。

その中で、「行政視察の報告のあり方・対応について」は、昨年12月に検討した福生市議会ホームページへの行政視察報告の掲載が実現し、福生市議会ホームページから行政視察の成果を見ることができるようになりました。

さらに、今回の協議では、本会議での委員長の行政視察報告など委員会視察内容の周知を市民などに適切に報告する方法について、再度検討していくことになりました。

また、現在導入している会議録作成関係の「音声反訳システムについて」は、本会議や委員会等の会議録がさらに早く市民の皆さんに公開できるよう会議録作成作業の効率化について事務事業の見直しを検討されました。

議員報酬関係では、任期途中で正副議長、委員長が交代した場合、その月の議員報酬を日割計算にする改正について議会運営委員会に要望しました。それを受け、議会運営委員会で、委員会提出議案として提出し、原案どおり可決され、この件については、4月から実施することになりました。

そのほか「政務調査費の使途基準の見直しについて」は、より適正な基準を設けるため、全国の判例等を調査し、検討を進めることになりました。

さらに、「議員定数削減について」は、26市それぞれの市で、1議員の人口に占める割合の資料を作成し、それを参考に検討していくことになりました。そのほかの項目についても、順次検討を進めていく予定です。

特別委員会活動がらみ

災害に強いまちづくり特別委員会

3月21日、災害に強いまちづくり特別委員会が開催されました。初めに、3月19日に実施したわらつけ中央災害備蓄庫と福生第三小学校避難所用備蓄庫の現地視察を受けて質疑が行われました。委員より、わらつけ中央災害備蓄庫については、耐震、耐火について設置場所の適否について

ついて
・障害者団体の商品参入について
・段ボールの積み方について
・備蓄庫の駐車場の流れについて
・三小避難所用備蓄庫について
・後ろの崖の安全性について
・在庫の数量管理について

次に、愛知県豊橋市の自主防災組織活動マニュアルが理事者より示され質疑を行いました。次に、発災1日目から3日目までの自主防災組織の活動について協議しました。市内、内出地区の自主防災活動要項や南地区の自主防災組織図を参考に協議しました。加入率が50%を下回る町会や自治会であつても、全市民対象の自主防災組織を作り、動かししていくことは可能であることが話されました。

横田基地対策特別委員会

3月19日に開催され、次の件を討議しました。
①平成24年度防衛補助事業等の実施予定について
民生安定施設の助成事業(8条)案件は、4事業で補助額は1億976万2千円、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業(9条)案件は、5事業で交付額3億5千万円、再編交付金は、2億764万2千円全額を基金積立てとのことでした。

②平成24年度基地関係国予算について
基地周辺対策予算は、昨年同額の1298億9百万円、基地交付金も、昨年と同額の335億4千万円とのことでした。
③航空自衛隊航空総隊司令部等の移駐について
3月26日付けで航空自衛隊横田基地の運用が開始され、約760名の移転も完了する旨の説明がありました。移転関連工事はほぼ完了、将官宿舎が4月中旬、隊舎は駐車場整備のため6月まで工事延長になったが、隊舎への入居に影響はないとのことでした。
④国有提供施設等所在市町村助成交付金等に関する要望について

1月12日に総務省に対して要望したことについて、説明がありました。
⑤航空機騒音測定結果について
市内2カ所で実施している騒音測定結果の1月までの状況について、説明がありました。
⑥横田基地で行われた演習結果について
1月以降実施された、運用即応演習、「サムライサージ」訓練、日米共同統合演習、緊急管理演習の説明のほか、垂直離陸の横田基地への一時配置について、北関東防衛局による市への説明状況の報告がありました。

また、横田基地周辺市町基地対策連絡会が、防衛大臣に対し、3月14日に一時配置の中止要請を行ったとのことでした。
昨年3月11日の東日本大震災発生時は一般会計予算審査の最終日でした。今年の定例会は何事もなく最終日を迎え、議案の審議においては活発な議論が展開されました。◆毎年3月定例会は来年度の予算を審査します。議長を除く19名の議員が参加して一般会計予算審査特別委員会を開き、4日間に渡り細かく審査した結果、予算は可決されました。定時内に審査を終えるよう努力し、最終日も5時半までに終わることができました。◆議会改革の一環として議員報酬を日割計算とする条例改正案が委員会提出議案として提案され、可決されました。任期の途中で正副議長や委員長が交代した場合、従来は2人にそれぞれ1か月分の報酬が支給されていましたが、交代した日までの日割りで支給されるようになりました。◆委員会の議事録も音声反訳システムで作成されることになり、委員会を終わって速記者からお世話になりましたと挨拶をされました。こちらこそ、という気分です。◆終わってみれば1か月遅れの梅の花が満開です。ひよっとして梅と桜が同時に見られるかもしれません。

編集後記



▲避難所用備蓄庫(第三小学校)を視察

- ・毛布の仕入れに作業所支援の観点を
- ・保存食の賞味期限表示について
- ・棚からの落下防止対策について
- ・簡易洋式トイレへの切り替えについて
- ・備蓄庫の鍵の管理について
- ・コンテナ内の蛍光灯に



▲航空自衛隊横田基地第5ゲート

次回、引き続き、発災1日目から3日目までの自主防災組織の活動について、具体的にシミュレーションしながら協議し、市への提言をまとめいく予定です。

また、警視庁が横田基地の軍属2人を書類送検する方針を固めたとのニュースについて、説明がありました。